

CASBEE-建築(新築)2016年版  
向日本経済新聞社

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
<b>Q 建築物の環境品質</b>					<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>		2.6	0.15	2.6	1.00
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20
<b>2 温熱環境</b>		3.7	0.35	3.8	1.00
2.1 室温制御		3.2	0.50	3.4	0.50
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57
2 外皮性能	外壁・屋根は、レベル5を満たすが、窓はレベル3の為、レベル4を選	4.0	0.25	4.0	0.43
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20
2.3 空調方式	気流速度や人感センサーにより不快感を与えない機器を選定	5.0	0.30	5.0	0.30
<b>3 光・視環境</b>		3.0	0.25	3.6	1.00
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30
1 昼光率	別紙参照	5.0	0.60	5.0	0.60
2 方位別開口		-	-	-	-
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30
1 昼光制御	カーテンと庇により昼光制御を行っている	2.0	1.00	4.0	1.00
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25
<b>4 空気質環境</b>		3.6	0.25	3.3	1.00
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面に使用している	4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気		2.0	0.30	2.3	0.38
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-
2 喫煙の制御	ビル全体を禁煙としている為	5.0	1.00	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>		<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>		3.0	0.40	4.2	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60
1 広さ・収納性	個室面積が16.3m <sup>2</sup> の為	-	-	5.0	1.00
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.1	0.30	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要内装仕上げ材は、ビニルクロスを使用	5.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	設備配管には耐用年数が長いものを採用	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-

<b>3 対応性・更新性</b>			2.7	0.30	2.4	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	1.8	0.50	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		共用部の壁長さ比率=0.21	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 番外環境(敷地内)</b>			-	0.30		-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							3.3
<b>LR1 エネルギー</b>				0.40			3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> = 0.75	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI <sub>m</sub> = 0.75	4.0	0.50		-	4.0
4 効率的運用			2.5	0.20		-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング				-		-	
4.2 運用管理体制				-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				0.30			2.7
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60		-	2.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮			3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	